

# ～耕作放棄地を再生し、地域のファンづくり～

## 長野県長野市

取組主体：特定非営利活動法人 小田切オアシス

取組開始時期：平成24年

解消面積：0.7ha(平成27年9月時点)

導入作物：市民菜園、アマワラビ、山ブキ

### 1. 取組のきっかけ・経緯

長野市小田切地区は、山間部にあり、高齢化、過疎化が深刻化し、耕作放棄地が増加し、有害鳥獣の被害も増大している地域である。小田切地区の農業を通じた活性化を目指す住民が、市街地住民に地区の良さを認識してもらい、小田切ファンを増やすことを目的として、住民自治協議会の協力を得て、耕作放棄地を再生し、農業体験できる場「小田切うんめえ塾」等、を運営してきた。

### 2. 取組内容

#### ○耕作放棄地の再生

長野市の地域やる気支援補助金や国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用し、森林化した耕作放棄地等を再生。

#### ○市街地住民との交流の場の企画・運営

平成24～25年度は、農業体験できる「小田切うんめえ塾」を開催。塾生を市街地住民から募集し、そば、野沢菜、大根、馬鈴薯、枝豆を栽培。平成26年度からは、長野市内で初の市民菜園(市民運営の市民農園)を運営し、利用者の相談や指導にあたった。平成27年度には再生した耕作放棄地で、山ブキの試験栽培を開始。また、成園化したワラビ園(アマワラビ)でワラビ狩り(収穫体験)を開催。

### 3. 今後の課題・予定など

- ・ 市民菜園の更なる充実、観光アマワラビ園の面積拡大による、市街地住民との交流促進及び障害者の就労支援、新たな雇用の創出。
- ・ アマワラビ栽培を地域に普及し、耕作放棄地の発生防止に努めるとともに、生産されたアマワラビの販売や、加工品の研究に取り組む。

### 4. 活用した補助事業

(国)耕作放棄地再生利用緊急対策交付金(補助内容：H26年度、0.2ha、再生作業)

(県)地域発元気づくり支援金(補助内容：H27年度、アマワラビ園開設)

(市)地域やる気支援補助金(補助内容：H24年度、耕作放棄地再生他)

(市)市民菜園開設事業(補助内容：H25年度、市民菜園開設)

(市)中山間地域農業活性化事業(補助内容：H27年度、耕作放棄地再生他)



再生前



約40aの再生農地で21区画の市民菜園を運営

再生後